



Oak Village.

通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.385 2011.1.1 <http://www.oakv.co.jp>

年が明けて

稲本 正文

正月になったからと言って、別に周りの風景や、社会情勢が一変する訳ではない。しかし、多くの人は、年が明け、年が変わるのを機に、何かを変えたいと思う。

物理的に周囲を変えさせることはできないにしろ、気分を大きく変えることは可能だ。特に、政治を含めた社会情勢が相当悪く、景気の良い話は滅多にない昨今だから、なおさら考え方を変えたい。

アインシュタインが「相対論」を発表してから100年位は経っているのだが、なぜかその物理法則は必要以上に難しいと思われていて、その意味が世の中に広まらない。しかし、その意味は簡単で、それまで「絶対」だと思われていた「時間」も「空間」もそして「宇宙」も、「絶対」的存在ではなく「全て」のものは生まれて死ぬ」という「理(ことわり)」である。

私は、以前から「相対論的共生進化」という「宇宙論と生物生態学と人間の社会システムを貫いた考え」を基にした生き方を皆が実行すれば、現在の環境問題や政治問題や経済の問題が解決すると唱えてきた。

まあ、これまでの近代合理主義に基づいた人類のおごりも、もはや限界だと多くの人が悟り始めたので、そろそろ夜も白み始めるのではないだろうか。

そう思えば気持ちが変わり、年も本当の意味で明けるような気がする。

